



PRESS INFORMATION



2014年7月8日

株式会社日本レースプロモーション

7月12日(土)～13日(日)

2014年全日本選手権スーパーフォーミュラシリーズ第3戦

富士スピードウェイ大会選手権概要

株式会社日本レースプロモーション(代表取締役社長 白井 裕、所在地:東京都千代田区)は、7月12日(土)～13日(日)の2日間、静岡県 富士スピードウェイ レーシングコース(1周:4.563km)で開催される「2014年全日本選手権スーパーフォーミュラ シリーズ第3戦富士スピードウェイ大会」について選手権概要を発表する。

今シーズンは5年ぶりとなる新型車両「SF14」が導入された。シャシーはダラーラ・オートモービル(イタリア)、タイヤはブリヂストンというワンメイクだが、エンジンはトヨタ(R14A)とホンダ(HR-414R)の2種類。2社ともに新開発の排気量2リッター直列4気筒直噴ターボ過給エンジンで、環境性能に優れたレーシングエンジンだ。開幕戦鈴鹿、第2戦富士のレース1、レース2では、トヨタエンジン搭載車が3回全て優勝を果たしている。しかし第2戦のレース2では昨年のチャンピオンである山本尚貴(チーム無限)が意地を見せ5位入賞を果たし、ホンダ勢巻き返しの兆しを見せたが、本大会でシリーズ前半戦の勢力図を変えることができるかが注目される。

レースは1周:4.563kmのレーシングコースを55周、計250.965kmで争われる。前回よりもレース距離が増えたこと。また夏の強い日差しで路面温度の上昇が予想され、タイヤの使い方がとても重要になる。本大会では1回以上のタイヤ交換義務がありピットストップを行うことになるが、ピットの回数を増やしピット1回あたりの燃料搭載量を少なくして、軽いマシンでタイヤを温存しながらレースをリードする戦略も考えられる。いずれにせよ2レース制よりも戦略的で順位の変動が激しいレース展開が予想される。

レースの勝敗は、これまでの戦績からトヨタエンジン搭載車に乗るドライバーが有利と考えられる。特に前回の富士大会レース1で優勝、レース2で2位を獲得し、今シーズン富士スピードウェイで好成績を挙げている現在ランキング3位のジョアオ・パオロ・デ・オリベイラ(レノボ チーム インパル)を筆頭に、前回のレース1で4位、レース2で優勝を獲得し現在ランキング2位のアンドレ・ロッター(ペトロナス・チーム・トムス)。これまでの全てのレースで入賞を果たし日本人ドライバー最高位のランキング4位の位置にいる中嶋一貴(ペトロナス・チーム・トムス)らが有力な優勝候補だ。

また巻き返しを図るホンダ勢だが、ディフェンディング・チャンピオンの山本尚貴(チーム無限)、F1経験者のヴィンタントニオ・リウツィ(エイチピー リアル レーシング)が前回入賞を果たし、本大会でどこまで上位に食い込むかが注目される。

なお開幕戦で優勝、レース1で3位、レース2で4位を獲得した現在ランキングトップの位置にいるロイク・デュバル(キグナス スノコ チーム ルマン)は、本大会は残念ながら欠場となった。

Series Partner

HONDA TOYOTA

Series Supporter

BRIDGESTONE

Promotion Partner

HITACHI J SPORTS

SKY Perfect JSAT Corporation

人 NINKI-ICHI 人気酒造

エントリーリスト 1/3

NO.	ドライバー		エンタラント名		車両名
	生年月日	国籍 (出身地)	監督名		(エンジン)
1	山本 尚貴 Naoki Yamamoto 1988. 7. 11 日本 (栃木県)		TEAM 無限 (チーム無限) 手塚 長孝		TEAM 無限 SF14 (Honda HR-414E)
	2	中山 友貴 Yuhki Nakayama 1987. 7. 29 日本 (石川県)			
3	ジェームス・ロシター James Rossiter 1983. 8. 25 イギリス		KONDO RACING (コンドーレーシング) 近藤 真彦		フジ・コーポレーション KONDO SF14 (TOYOTA R14A)
7	平川 亮 Ryo Hirakawa 1994. 3. 7 日本 (広島県)		KYGNUS SUNOCO Team LeMans (キグナス スノコ チーム ルマン) 土沼 広芳		ACHIEVEMENT Team KYGNUS SUNOCO SF14 (TOYOTA R14A)
	8	アンドレア・カルダレリ Andrea Caldarelli 1990. 2. 14 イタリア			Team KYGNUS SUNOCO SF14 (TOYOTA R14A)
10	塚越 広大 Koudai Tsukakoshi 1986. 11. 20 日本 (栃木県)		HP REAL RACING (エイチピー リアル レーシング) 金石 勝智		HP SF14 (Honda HR-414E)
	11	ヴィンタントニオ・リウッツィ Vintantonio Liuzzi 1981. 8. 6 イタリア			
18	中山 雄一 Yuichi Nakayama 1991. 7. 25 日本 (東京都)		KCMG (ケーシー エム ジー) 土居 隆二		KCMG Elyse SF14 (TOYOTA R14A)

エントリーリスト 2/3

NO.	ドライバー 誕生日 国籍 (出身地)	エントラント名 監督名	車両名 (エンジン)
19	ジョアオ・パオロ・デ・オリベイラ Joao Paulo de Oliveira 1981. 7. 13 ブラジル	Lenovo TEAM IMPUL (レノボ チーム インパル) 星野 一義	Lenovo TEAM IMPUL SF14 (TOYOTA R14A)
20	クマール・ラム・ナレイン・カーティケヤン Kumar Ram Narain Karthikeyan 1977. 1. 14 インド		
31	中嶋 大祐 Daisuke Nakajima 1989. 1. 29 日本(愛知県)	NAKAJIMA RACING (ナカジマ レーシング) 中嶋 悟	NAKAJIMA RACING SF14 (Honda HR-414E)
32	小暮 卓史 Takashi Kogure 1980. 8. 1 日本(群馬県)		
36	アンドレ・ロッテラー Andre Lotterer 1981. 11. 19 ドイツ	PETRONAS TEAM TOM' S (ペトロナス・チーム・トムス) 舘 信秀	PETRONAS TOM' S SF14 (TOYOTA R14A)
37	中嶋 一貴 Kazuki Nakajima 1985. 1. 11 日本(愛知県)		
38	石浦 宏明 Hiroaki Ishiura 1981. 4. 23 日本(東京都)	P.MU/CERUMO/INGING SF14 (プロミュー/セルモ・インギング) 立川 祐路	P.MU/CERUMO/INGING SF14 (TOYOTA R14A)
39	国本 雄資 Yuji Kunimoto 1990. 9. 12 日本(神奈川県)		

エントリーリスト 3/3

NO.	ドライバー 誕生日 国籍 (出身地)	エントラント名 監督名	車両名 (エンジン)
40	野尻 智紀 Tomoki Nojiri 1989. 9. 15 日本 (茨城県)	DOCOMO TEAM DANDELION RACING (ドコモ チーム ダンディライアン レーシング) 村岡 潔	DOCOMO DANDELION M40T SF14 (Honda HR-414E)
41	武藤 英紀 Hideki Mutoh 1982. 10. 6 日本 (東京都)		DOCOMO DANDELION M41Y SF14 (Honda HR-414E)
62	嵯峨 宏紀 Koki Saga 1983. 4. 25 日本 (愛知県)	TOCHIGI Le Beausset Motorsports (とちぎ・ル・ボーセ モータースポーツ) 坪松 唯夫	DENSO Le Beausset SF14 (TOYOTA R14A)

2014年シリーズ選手権 ポイントシステム

順位	優勝	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位	9位以下	P. P.
1大会1レース	10	8	6	5	4	3	2	1	0	1
1大会2レース	5	4	3	2.5	2	1.5	1	0.5	0	1

* P. P. : ポールポジション (予選1位) には、ドライバーにのみ1ポイントが与えられる。チームポイントには加算されない。

1大会2レース制の場合、レース1、レース2共に1レース制の得点の半分が与えられる。

*最終戦(第7戦)鈴鹿大会に限り、レース1、レース2の勝者には通算ポイント別に3ポイントが与えられる。これによりポールポジション+2連勝で最大18ポイントが与えられる。

*最終戦終了時点で、複数のドライバーまたはチーム(エントラント)が同一ポイントを獲得している場合は、高得点を得た回数が多い順に順位を決定する。

—ご参考—

1. スーパーフォーミュラ

全日本選手権スーパーフォーミュラシリーズは、純然たるレーシングマシンであるオープン・シングルシーターのフォーミュラカーによって競われる国内最高峰の自動車レース。一般社団法人日本自動車連盟（JAF）が公認し、株式会社日本レースプロモーションのプロモートによりフォーミュラ・ニッポンとして1996年にスタート。2013年より名称をスーパーフォーミュラに変更した。

2. シリーズ賞典

シリーズ賞典は、年間チャンピオン ドライバーには、株式会社日本レースプロモーションより、賞金とシリーズ ドライバースチャンピオンカップが授与されるほか、自由民主党モータースポーツ振興議員連盟より同連盟杯が贈られ、観光庁より観光庁長官杯が交付される。経済産業省より経済産業大臣杯が交付され、株式会社日本レースプロモーションより賞金が授与される。

3. レース車両（SF14）

シャシーはダラーラ・オートモービル社（イタリア）製でタイヤはブリヂストンのワンメイク。エンジンは排気量2リッター、直列4気筒直噴ターボ過給エンジンでHonda HR-414EまたはTOYOTA R14Aを使用する。

4. オーバーテイクシステム（OTS）

燃料リストラクターシステム（燃料流量規制システム）を活用し、約20秒間燃料供給量を上げて約5%エンジン性能をアップさせ、オーバーテイクを補助するシステム。ステアリングにあるボタンで操作し、本大会ではレース1、レース2の決勝を通じ、あわせて5回まで使用できる。使用中はドライバーのヘルメットの後方にあるランプが点滅し、観客からも視認できる。またポイントリーダードライバーは、赤色のオーバーテイクランプ（リーダーズレッド）を装着している。OTSはスーパーフォーミュラ独特の仕組み。

5. 予選（ノックアウト方式）

決勝レースのスタート位置を決定するための予選は、Q1、Q2、Q3の、計3回の予選が行われる。本大会のように19台エントリーの場合にはQ1（20分間）で15位から19位のスタート位置を決定。10分間のインターバルの後、Q2（7分間）を行い9位から14位のスタート位置を決定する。さらに10分間のインターバルの後Q3（7分間）を行い、1～8位までの決勝レーススタート位置を決定する。文字通りの好タイムが出なければ脱落することから、ノックアウト方式（勝ち抜き戦）と呼ばれる。

2014年全日本選手権スーパーフォーミュラシリーズ開催スケジュール

日程	ラウンド/サーキット	予選方式	決勝レース方式
4/ 12～13	第1戦/鈴鹿サーキット	ノックアウト	250 km
5/ 17～18	第2戦/富士スピードウェイ	ノックアウト	2レース制
7/ 12～13	第3戦/富士スピードウェイ	ノックアウト	250 km
8/ 23～24	第4戦/ツインリンクもてぎ	ノックアウト	250 km
9/ 13～14	第5戦/オートポリス	ノックアウト	220 km
9/ 27～28	第6戦/スポーツランドSUGO	ノックアウト	250 km
11/ 8～ 9	第7戦/鈴鹿サーキット	ノックアウト	2レース制

—開催概要—

- 大会名称 : 2014年全日本選手権スーパーフォーミュラ シリーズ 第3戦
- 併催レース: スーパーカーレースシリーズ 第3戦、第4戦
- 開催日 : 2014年7月12日(土)~7月13日(日)
- 開催地 : 静岡県 富士スピードウェイ レーシングコース(1周: 4.563km)
- 主催 : 富士スピードウェイ株式会社/富士モータースポーツクラブ(FMC)
- 公認 : 国際自動車連盟(FIA)
一般社団法人日本自動車連盟(JAF)
- 認定 : 株式会社日本レースプロモーション(JRP)(<http://www.superformula.net.co.jp/>)
日本フォーミュラスリー協会(JA3A)
Motorsport Asia Ltd./Honda ワンメーク事務局(HORS)
- 後援 : 静岡県小山町、御殿場市、裾野市、公益社団法人静岡県観光協会、小山町観光協会、御殿場市観光協会、裾野市観光協会、K-mix、東京中日スポーツ/中日スポーツ
- 同日開催 : 全日本選手権シリーズ第8戦、第9戦
N-ONE OWNER'S CUP Rd.1
GT Asia Series 2014 Rd.5/Rd.6
WAKO'S スーパーカート グランドサマーフェスティバル
Enjoy Honda FUJI 2014

【チケット情報】

- 観戦券 : 前売り大人 ¥5,700(予選・決勝2日間有効)
*中学生以下は保護者同伴に限り入場無料です。
*詳細は富士スピードウェイ公式サイト(<http://www.fsw.tv>)をご参照ください。

【TV放映予定】

{お願い} 放送日、放送時間は予告なく変更される場合がありますので、SF公式ホームページ(<http://www.superformula.net/>)でご確認ください。

- 「J SPORTS 1」: 全戦決勝レースをライブ中継。また決勝レースのリポート放送やレースダイジェスト番組も放送。
 - ・7月12日(土)午後2:45~午後4:30 全日本選手権スーパーフォーミュラ第3戦 予選(生中継)
 - ・7月13日(日)午後1:30~午後5:30 全日本選手権スーパーフォーミュラ第3戦 決勝(生中継)

*リポート放送、レースダイジェスト番組は、スーパーフォーミュラオフィシャルウェブ(<http://www.superformula.net/>)またはJ SPORTSホームページ(http://www.jsports.co.jp/program_guide/month/japanese/c_month14.html)にてご確認ください。

●「BSフジ」：大会ごとに55分間の「スーパーフォーミュラ」特集を放送。

- ・7月20日（日）午後 1:00～午後 1:55（本放送）
- ・7月21日（祝）午後 3:00～午後 3:55（再放送）

●フジテレビONE SFTV

- ・7月18日（金）午後 10:40～午後 11:10「第3戦・富士ハイライト/山本尚貴+塚越広大スーパートーク！」
- *放送日、放送時間はスーパーフォーミュラオフィシャルウェブ(http://www.fujitv.co.jp/otn/b_hp/914200066.html)
でご確認ください。

●YAHOO!GyaO!

*大会終了10日後よりスーパーフォーミュラの決勝レースを全戦オンデマンド (<http://gyao.yahoo.co.jp/>) で放送。

*この件に関するお問い合わせは、下記までお願いいたします。

株式会社日本レースプロモーション (<http://www.superformula.net/>)

102-0074 東京都千代田区九段南2-3-25 平安堂ビル

e-mail : media@superformula.net

Tel:03-3237-0131 Fax : 03-3237-0135

広報担当：遠藤清人 携帯電話：090-3401-8112

e-mail : media@jrp-inc.net

2014年全日本選手権スーパーフォーミュラ シリーズ ポイント獲得票

第2戦 終了時点

ドライバーズ・ポイントランキング (※赤字がポイントリーダー)

順位	セクセン	ドライバー	合計ポイント	4/13	5/18	7/13	8/24	9/14	9/28	11/9
				鈴鹿 Rd.1	富士 Rd.2-1 Rd.2-2	富士 Rd.3	もてぎ Rd.4	オートポリス Rd.5	菅生 Rd.6	鈴鹿 Rd.7-1 Rd.7-2
10	1	山本 尚貴	2	0	0	2				
18	2	中山 友貴	0	0	0	0				
5	3	ジェームス・ロシター	9.5	8	1.5	0				
7	7	平川 亮	5.5	5	0	0.5				
1	8	ロイック・デュバル	15.5	10	3	2.5				
12	10	塚越 広大	0	0	0	0				
11	11	V・リウツツイ	1.5	1	0.5	0				
17	18	中山 雄一	0	0	0	0				
3	19	J. P. デ・オリベイラ	12	2	6	4				
9	20	K. R. ナレイン・カーティケヤン	2.5	0	1	1.5				
15	31	中嶋 大祐	0	0	0	0				
19	32	小暮 卓史	0	0	0	0				
2	36	アンドレ・ロツテラー	13.5	5	2.5	6				
4	37	中嶋 一貴	10	3	4	3				
6	38	石浦 宏明	6	6	0	0				
8	39	国本 雄資	3	0	2	1				
16	40	野尻 智紀	0	0	0	0				
13	41	武藤 英紀	0	0	0	0				
14	62	嵯峨 宏紀	0	0	0	0				

※太字は優勝、下線はP.P.

チーム・ポイントランキング (※赤字が首位チーム)

順位	セクセン	チーム	合計ポイント	4/13	5/18	7/13	8/24	9/14	9/28	11/9
				鈴鹿 Rd.1	富士 Rd.2-1 Rd.2-2	富士 Rd.3	もてぎ Rd.4	オートポリス Rd.5	菅生 Rd.6	鈴鹿 Rd.7-1 Rd.7-2
6	1.2	チーム無限	2	0	0	2				
4	3	コンドーレーシング	9.5	8	1.5	0				
2	7.8	キグナス スノコ チーム ルマン	21	15	3	3				
7	10.11	エイチピーリアルレーシング	1.5	1	0.5	0				
5	18	ケーシー エム ジー	0	0	0	0				
3	19.20	レノボ チーム インパル	13.5	2	6	5.5				
10	31.32	ナカジマレーシング	0	0	0	0				
1	36.37	ペトロナス・チーム・トムス	21.5	7	6.5	8				
5	38.39	プロミュー/セルモ・インギング	9	6	2	1				
8	40.41	ドコモチーム ダンディライアンレーシング	0	0	0	0				
9	62	トチギル・ボーセ モータースポーツ	0	0	0	0				

※チームランキングにはP.P.ポイントは含まれない。